

研究機関：広島大学

研究課題名	手術時の気胸、気腹、体位等による脳波変化、脳循環に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
研究期間	2021年1月27日(倫理委員会承認後)～2025年11月30日
対象者	2014年4月から2024年11月の間に、広島大学病院手術部で気胸、気腹を伴う内視鏡手術を行われた患者さんを対象とします。
意義・目的	<p>内視鏡下の全身麻酔下での手術時には気胸、気腹を行う必要があります。術中の気腹圧や体位、手術台の角度による脳圧や脳灌流について詳細はこれまで明らかになっておらず、その研究、解明が必要と考えられます。本研究では気胸、気腹を行う全身麻酔下手術において脳灌流がどのように変化しているか、生体モニタリングとの関係、その後の神経学的変化をカルテ情報から後方視的に調査、加えて、低侵襲検査である近赤外線分光法での酸素飽和度やエコーを用いた脳圧の検討を交えて前向きでも調査することを目的とします。</p> <p>本研究により様々な要因による脳灌流の変化やその神経学的影響が明らかになれば、術中、術後の管理に役立つ知見が得られると期待される。</p>
方法	<p>本研究は介入を行わず過去、今後のカルテ情報、麻酔記録からの情報を主に用いて研究を行います。加えて術中に用いることができる近位赤外線分光法で酸素飽和度を調べたり、眼瞼の上からエコーをあてて、視神経鞘径(ONSD)を測定し、脳圧を評価します。術後経過に関してカルテを参照しますが、個人を特定可能な情報は解析に使いません。</p>
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院 医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5267 広島大学病院麻酔科 職名 医科診療医 森尾 篤</p>